

技術支援事例 No. 73 / 商品企画、デザイン

手織機部品の改良

背景

全国的にも高い評価を得てる県内の織物産業は、「高機(たかはた)」という伝統的な手織機により織り上げられます。その高機について、旧来然とした構造・部材による不具合が多く見られることから、平成19年度に織機の構造部品の改良に関する設計・試作・実証試験を行い、以降は普及に向けた支援を継続してきました。

内容

- ① 改良部品である男巻(縦糸の送り出し部)の調節ブレーキの設置・調整と動作の検証
- ② 千巻(布の巻き取り部)のラチェット部品の設計・試作・設置・調整と動作の検証



成果

特に巻き取り(千巻)部のラチェットについて、レーザー加工機切断による高精度な部品により、布の巻き取りとテンション調整を確実・緻密に行えるようになりました。新規製作時の設置のほか、既存の織機に部分的にすげ替えることも可能で、低コストで高い効果が得られることから、徐々に普及が進んでいます。